



ふくしま市町村支援機構は、公益事業を行うとともに、県・市町村のニーズを幅広く支援します。

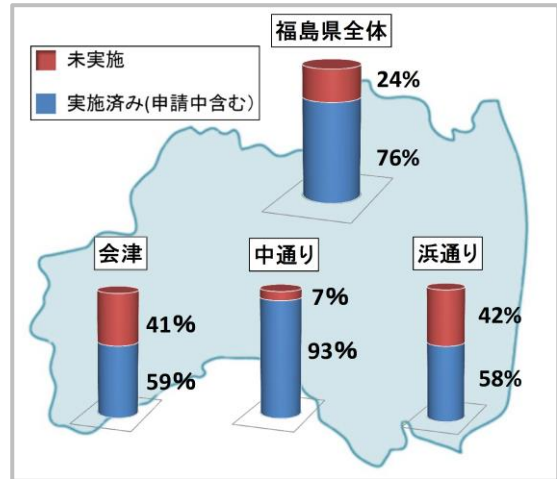
## 設備

### 防災拠点の太陽光発電が普及しています

福島県は、市町村等が行う防災拠点への太陽光発電等の再生可能エネルギー導入を支援する市町村公共施設支援事業を行っています。この支援事業は、災害等の非常時における自立・分散型エネルギーシステムの構築、さらに、平時においては商用電力の低減を図り地球温暖化対策の推進を目的としています。事業期間は平成 24 年度から 27 年度までとなっており、今回は平成 25 年度申請分までを含めたこの事業の利用普及率についてお知らせいたします。(当支援機構調べ)

福島県の各地方の市町村数をもとに、支援事業の普及率を調べたところ、右図のとおりとなりました。図の実施済みとなっている部分が普及率です。(福島県全体及び浜通りには、避難区域の町村も含まれます。)

平成 25 年度の申請は終了しましたが、平成 26 年度の申請を検討される場合は早めの準備をお勧めいたします。当支援機構では事業の立案から設計積算、補助申請、工事監理まで支援してまいります。



### 再生可能エネルギー導入の支援を行っています

近年、太陽光発電以外の再生可能エネルギーにも注目が集まっています。今回は、小水力発電及び木質バイオマス熱利用・発電について紹介します。

#### 小水力発電

小水力発電は、水路等の未利用落差を利用して水車を回し発電を行うもので、昼夜・年間を通じて発電可能な比較的規模の小さな発電システムのことです。国土交通省では現在、農業用水等を利用した小水力発電について登録制を導入し、水利使用手続きを大幅に簡素化させるべく河川法の改正を予定しています。今後この登録制が成立すれば、より円滑な小水力発電の設置が見込まれます。また、導入にあたっての留意点は以下のとおりです。

- 発電所の近隣に電力需要施設がない場合は、新たに送電線敷設が必要となります。
- 維持管理では、水路の枝葉等の流下物の除去などが必要となる場合があります。

#### 木質バイオマス熱利用・発電

木質バイオマス熱利用・発電は、間伐材等をチップ化した木質燃料をボイラーで燃焼させ温水や蒸気を作り、公共施設の給湯・暖房などの熱利用や発電を行うものです。また、導入にあたっての留意点は以下のとおりです。

- 木質燃料の安定供給又は供給体制づくりが必要となります。
- 維持管理では、ボイラー運転操作の他に焼却灰処理などが必要となります。

当支援機構は、従来からの太陽光発電に加え、小水力発電及び木質バイオマス熱利用・発電に取り組まれる市町村等に対しても、可能性調査の段階から支援してまいります。

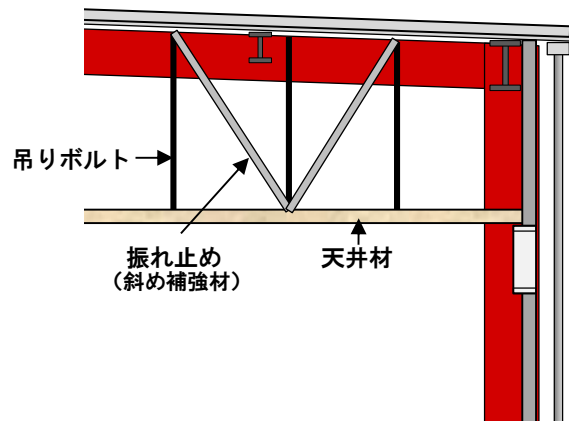
## 学校施設は天井材や外壁材などの耐震化対策も重要です

学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であると共に、地震等の発災時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、耐震化などの施設整備が図られておりますが、天井材や外壁材といった非構造部材の耐震対策も国庫補助事業の対象となっております。

平成24年に発行された『公立学校施設整備事務ハンドブック』、および事例集等の中からその一例を紹介致します。なお、詳細については関係資料等をご参照ください。

非構造部材の耐震化の整備内容	
<p>●剥落・落下防止工事</p> <p>外壁及びその仕上げ材(モルタル・タイル・ALC板等) 間仕切り及び内装材 天井材及び天井器具(照明器具、空調機器等) 屋根材(瓦材等) 建具及びガラス</p>	<p>●移動・転倒防止工事</p> <p>既に存在する書架やロッカーなどの備品 設備機器(屋外空調設備・受水槽・高置水槽等)</p> <p>●屋外避難階段等と本体建物の分離防止工事</p> <p>●配管(給排水管・ガス管・電線等)の破損・切断・漏電防止工事</p> <p style="text-align: right;">など</p>

事例：＜天井材の耐震化＞ ～金属下地の斜め補強～



## 公共建築の工事監理を支援しています

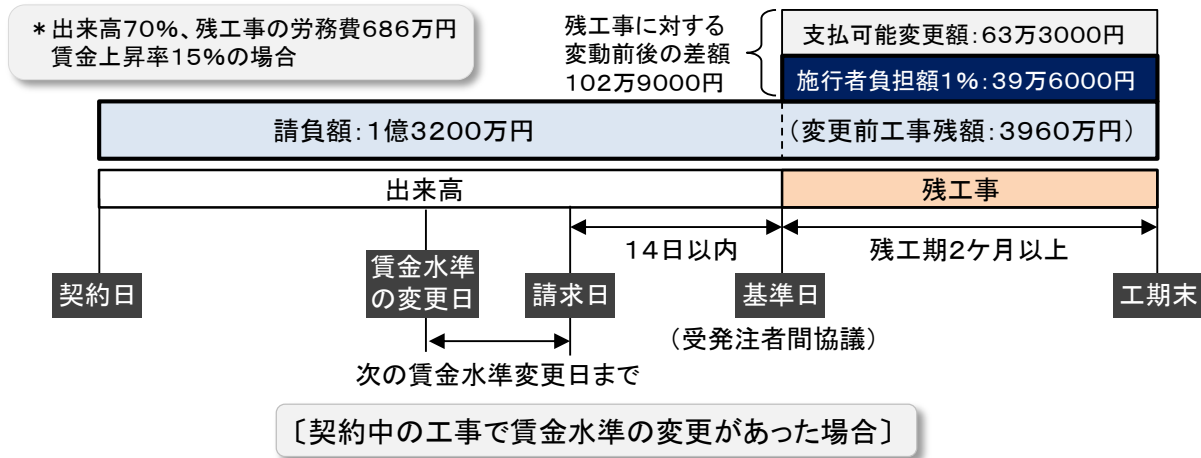
当支援機構は市町村から公共建築物の設計・工事監理業務および第三者工事監理業務などを受託しております。以下の写真は、支援機構が第三者工事監理を行った白河市立図書館（平成25年6月の第33回東北建築賞受賞）及び設計・工事監理を行った学校教育施設（プールの既存解体・新設）の紹介です。



当支援機構では事業相談から設計積算、工事監理まで支援してまいります。

## 労務単価が大幅上昇、インフレスライド条項に該当しませんか

東日本大震災の被災三県（福島県、宮城県、岩手県）は、公共工事の急激な価格変動に対応するため、工事請負契約約款第25条第6項（インフレ条項）の規定の運用について、昨年度、別途通知が出されており、条項の規定を順守した適切な運用に努められていることと思います。一方、平成25年4月から適用する設計労務単価が、県平均で約20%の大幅な上昇となり、インフレ条項の適用が求められています。特に、現在契約中の工事につきましては、残工期が2か月以上あるすべての工事が対象となります。スライド額の算出は、労務単価、材料単価、機械器具損料並びにこれらに伴う共通仮設費、現場管理費及び一般管理費の変更について行われますが、歩掛の変更については対象となりません。なお、該当する市町村につきましては当支援機構が皆様を支援してまいりますので、お気軽にご相談ください。

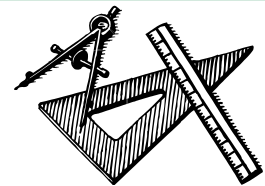


お問合せは 土木2課 ☎ 024-522-5122 まで

## 研修

### 市町村建設事業担当職員の研修を開催しています

市町村建設事業担当職員研修は市町村からの要望・要請に沿った研修を、階層別に初級研修基礎講座から中級研修まで実施しております。平成24年度は27日間に渡り、全8講座で210名の方々が受講されました。多数の受講ありがとうございます。前年度の受講者アンケートを基に今年度も随時研修を開催しております。



平成24年度の講座の中で受講希望者が最も多かったのは用地初級で、急遽回数を増やし2回の開催となりました。この講座は、用地実務の経験が浅い職員を対象に行われ、受講者からは「公共事業の用地事務を遂行するために必要な知識と能力を身に付けることができた」と好評でした。今年度は、基礎を受講した方、又は用地事務経験がある方を対象に事例研究を交えながらワンランク上の能力を身につけていただくため、用地中級講座を平成26年1月21日、22日の2日間開催する予定です。同じく受講希望者が多かった設計積算システム積算演習土木・建築コース（初級）並びにJw-CAD演習（初級）は、福島県の設計積算システムを使用する方や、Jw-CADを初めて操作する方を対象に基本的な操作方法を習得していただけます。Jw-CAD演習（初級）に関しては、今年度も多くの方に受講していただけるよう募集定員を30名に増員し開催いたします。



具体的な研修の受講手続等については、それぞれ研修開始1か月前にお知らせします。多数の参加お待ちしております。

お問合せは 総務課 ☎ 024-522-5123 まで



## ふくしま街道・川ものがたり

## 会津若松市 越後街道「柳橋」

NHKの大河ドラマ「八重の桜」の舞台となる会津若松市、ドラマも佳境に入り「八重」の人気と合わせ多くの観光客が訪れています。

このドラマの前半のクライマックスに会津藩の凄絶な会津戦争が描かれますが、この戦いで悲惨な籠城戦となった鶴ヶ城から、越後街道を北西に約3km程進むと湯川に架かる柳橋があります。この橋の付近は古来より道標として多くの柳が植えられており、古くは楊柳橋と呼ばれていました。

慶長5年(1600年)上杉景勝の時代に徳川家康への備えとして神指城の築城が開始された際、柳橋は堅牢な橋に造り替えられています。藩政時代に入ると、柳橋から200m程下流の薬師河原に処刑場があり、罪人はここから舟に乗せられ処刑場に向かったといわれ、刑場に引かれる罪人は、この場所にあった井戸水で親族と水杯を交わし、悲しい別れに涙したこと、柳橋はいつしか涙橋と呼ばれていました。

この柳橋には、もう一つの物語があります。幕末の会津戦争、山本八重と並び称される中野竹子終焉の地として、悲壮な歴史を秘めています。(大河ドラマでは、山本八重のライバルとして黒木メイサが好演)



新政府軍が会津城下に攻め込んだとき、城主松平容保の義姉輝姫を守るため、中野竹子は娘子軍を組織し、城下より北西約14kmの坂下宿に駆け付けますが、輝姫所在を誤報と知り、急遽越後から引きあげた兵団に従軍。翌日、娘子軍を加えた会津軍は坂下宿から城下に向かいましたが、これを阻止しようとする長州・大垣藩の新政府軍と柳橋で激突、この橋を境に壮絶な戦いが繰り広げられました。竹子は銃弾が飛び交う中、薙刀をかざし奮戦するが、敵の銃弾に倒れ、首級が敵の手に落ちることを恥辱とする会津の教え故、中野竹子の妹中野優子が介錯(これには農民兵との諸説もあるが)、竹子の首級を白羽二重の鉢巻に包み持ち帰るといふ壮絶な戦いの歴史が柳橋には残っています。

中野竹子は、会津藩江戸詰勘定役・中野平内の長女として江戸に生まれ、幼くして聡明で容姿端麗、学問に長じ、薙刀術は免許皆伝を受けるほどの名手といわれていました。これは、女性といえども、礼儀作法、道徳を重んじ、最悪の場合は死ぬ覚悟を持つという会津ならではの慣習にのっとりた会津の土道であり、後々、このことが会津藩の女性に多くの悲劇をもたらすこととなります。

薙刀の名手中野竹子、享年22歳。辞世の短冊は薙刀に結び付けられていました。



### 武士(ものゝふ)の 猛(あつ)き心にくらぶれば 敵にも入らぬ我が身ながらも

理不尽な時代の流れに翻弄され、純粋に故郷を思い、会津の土道を貫き一発の敵弾に倒れた竹子の思いは、会津の未来に何を託していたのだろう、今はその思いを知る由もありませんが、その生き様は後世の人々に感動を与え、会津戦争、涙橋の戦いを語るとき、この純粋な心根の女性のことを気にとめ、悲運と哀切の柳橋(涙橋)に多くの人が訪れています。



#### 編集後記

先日、川内村の遠藤村長をお招きし、復興に向けた課題について講話をしていただきました。先進的な取り組みの紹介など、大変有意義な内容でした。支援機構は、今後も県・市町村の支援に取り組んでまいります。また、皆様からのご意見・ご相談を随時受付しております。今後どうぞ宜しくお願い致します。

相談専用 TEL 024-597-7044

【編集・発行】 〒960-8043 福島県福島市中町7-17 一般財団法人ふくしま市町村支援機構

TEL : 024-522-5123 FAX : 024-522-3631 E-Mail : info2@fctc.or.jp URL : <http://www.fm-so.org>



ふくしまからはじめよう。